

# やなかわ

YANAGAWA 2013.

no.192

## 3月15日

### 今号の内容

- ◆水落ちとおもてなしの心で春の柳川へ 2～3
- ◆4月14日は市長選、市議補欠選 4～5
- ◆防災無線屋外スピーカー37か所設置 6～7
- ◆市民協働まちづくり事業を総括ほか 8～9
- ◆PM2.5測定値公表、狂犬病予防注射ほか 10～11
- ◆市民のひろば(12-13) ◆俳句(13) ◆情報わいど(14-18) ◆がんばったね(18) ◆もちふみデビュー(19) ◆人権・同和教育シリーズ(20)



## 梅香る街道で健脚競う

七ツ家の県道767号線沿いにある「梅の木街道」の梅の木が、2月下旬から3月上旬にかけて見ごろとなりました。街道を訪れる人へ、七ツ家老人クラブ連合会が2月28日から3月4日までお茶のサービスでおもてなし。また、3月3日は昭代地区恒例の「梅の香マラソン大会」が開かれ、地元の小学生から大人310人が、沿道からの声援を受けながら梅の花が咲き誇る街道で健脚を競いました。

# 人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。

## 人権問題について



大和中学校2年 武藤 莉央 さん

ます。また、相談された人も聞いただけではなく、行動に移すことができたのなら、自殺という悲しい結果を食い止められたのではないかと思います。

私たちには「人権」があります。「人権」というのは、全ての人間が持っているべき、生存、自由、平等などの権利です。いじめた人は、その人の「人権」を奪ったのです。生きる自由を妨げられ、辛い思いをした人に対し、相手のことも考えず知らん顔をして、遊びだったなどと言うのです。そんな人たちは、私は許すことなどできません。

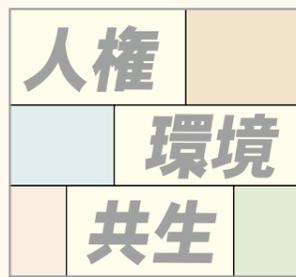
一生に一度の人生を、いじめという悲惨なことでつぶされ、自由を奪われてしまう。そんなことが起るのには絶対におかしいと思います。過ちを犯した人が、相手の立場を考えず、悪気がなかったからと言って反省し

ないというのは、いけないと思います。否定するのではなく、素直な気持ちで、いけない事をしたのなら謝ることが必要です。そんな当たり前の心を持った人が少なくなったので、悲しい出来事が多発するのでしょうか。

けんかをしたとしても、一方的な言い分だけで自分の考えを押しつけるのではなく、悪かった点に気づき反省すると、仲直りもできます。その時の「ごめんなさい」という言葉で、難しい問題でも解決できます。たった一言だけで、気持ちが軽くなるのです。

友達と平等に接することは、簡単そうに見えて、実は難しいことかもしれません。それに、けんかの後は、気持ちの食い違いがあるかもしれません。でも、それを乗り越えることによって、新しい絆ができるのだと思います。

す。  
「ごめんなさい」の魔法の一言で。



【評】中学生にとっての大きな人権問題は、やはり「いじめ」でしょう。その原因を筆者は、素直な気持ちで謝れる当たり前の心を持った人が少なくなったことにあると捉えています。みんなが「ごめんなさい」の魔法の一言を素直に言える社会を作っていくましよう。